

42

はくぶつかんしりょう 博物館資料のレプリカをつく
博物館資料のレプリカを作ろう！

徳島県立博物館ボランティアグループ

1. ねらい

はくぶつかんしりょう 博物館資料（アンモナイト化石、まがたま 勾玉など）をもとにつく 作ったゴム凹型に樹脂ねんどを押し込んで、はくぶつかん 資料のレプリカ（複製）を作ります。かせき 化石やこうこしりょう 考古資料などの型取りを体験してもらうことによって、せいぶつ 生物の形のふしぎ 不思議さや、にんげん 人間がつく 作った造形物のせいぶつ 意味についてふれてもらおうと考えています。できあがったレプリカは、もちかえ 持ち帰ることができます。

2. 用意するもの

はくぶつかんしりょう 博物館資料のゴム凹型：アンモナイトやにまがい 二枚貝のかせき 化石、まがたま 勾玉、えどじだい 江戸時代のかへい 貨幣など
 ざいりょう ざいりょう 材料：じゆし 樹脂ねんど（しょうひんめい 商品名：おゆるまる）

3. つくりかた

ゆ あたた やわ お湯で温めて柔らかくしたじゆし 樹脂ねんどを、おうがた 凹型に押し込みます。その後、りゅうすい 流水でじゆし 樹脂ねんどをひや 冷やします。かた 冷えて固まったらできあがり。うまくできるかな？



かせき まがたま はくぶつかん アンモナイト化石、勾玉などの博物館資料。どのレプリカを作ろうかな？



さくせい レプリカ作製の様子



かんせい 完成したアンモナイトのレプリカ（左手前）。みぎおく 右奥はホンモノのアンモナイト化石